

**さらなる品質向上を図りながら、消費電力を1割低減※
『セブンカフェ カフェラテ』の新型マシンを
2026年度中に約11,000店まで拡大**

～燃料費高騰への対応として設備投資を前倒し、今年度新たに約5,000台導入へ～



株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津 知洋、以下「セブン-イレブン」）は、安全・安心で美味しい商品や、利便性の高いサービスを安定的に提供し続けるため、店舗設備への投資を計画的に推進しています。

このたび、従来機種と比べて断熱性を向上させることにより、消費電力を約1割低減※した『セブンカフェ カフェラテ』の新型マシンの導入を拡大いたします。昨今さらなる燃料費の高騰が懸念される中、電力使用量や環境負荷の低減に取り組むべく、新型マシンにおける設備投資を前年と比べて1.5倍のペースで進めてまいります。2026年度は約5,000台を新たに導入し、今年度中に導入店舗数を約11,000店まで拡大いたします。

また、新型マシンによって、よりきめ細かな泡立ちを実現するなど美味しさと品質の向上を実現するとともに、清掃部品の見直しを通じて清掃時間を短縮することで店舗における省人化・省力化にもつなげてまいります。

※従来機種と比較した場合の当社試算。店舗での使用を想定した一定条件下で測定した値であり、使用状況により異なります。

『セブンカフェ カフェラテ』 新型マシンのポイント



新型マシンを通じて、電力使用量や環境負荷の低減だけでなく、美味しさや品質、マシン操作時の利便性向上に取り組んでまいります。

- ポイント① 抽出工程の改良を行い、より濃厚なドリップが抽出できる仕様に変更。
- ポイント② カップを傾斜させて注ぐ仕様に変更するなどし、よりきめ細やかな泡立ちを実現。
- ポイント③ マシン上部のキャニスターを4分割することにより、ラテ専用豆の使用を可能に。
- ポイント④ 従来よりも多様なメニューが実現でき、商品開発の自由度を向上。
- ポイント⑤ カップ識別機能を備えたセンサーにより、お客様が迷わずメニューを選べるように。

<ご参考：すでに実施している「省エネ」に資する取り組みについて>



■ AI を活用した空調制御による省エネ対応

店舗の省エネと設備管理の省力化を目的に、日立グローバルライフソリューションズ社と連携した、AI 活用の「exiida 空調省エネ制御」などを一部のセブン-イレブン店舗に導入しています。

店舗における空調の快適性を保ちながら、消費電力量の削減に取り組んでいます。



■ アイスケース上部へのステンレス製棚の取り付けによる省エネ対応

アイスケース上部にステンレス製の棚を取り付けることで、商品の買いやすさと補充のしやすさを維持し、消費電力量も約 1 割低減しています。また、アイスケース上部棚の天板の庫内側をステンレス仕様にするすることで、庫内の冷気を反射させて冷却効率を高めています。

※一部、設置されていない店舗がございます。

※画像はイメージです。

※情報は現時点でのものです。最新の情報は HP をご確認ください。

以上